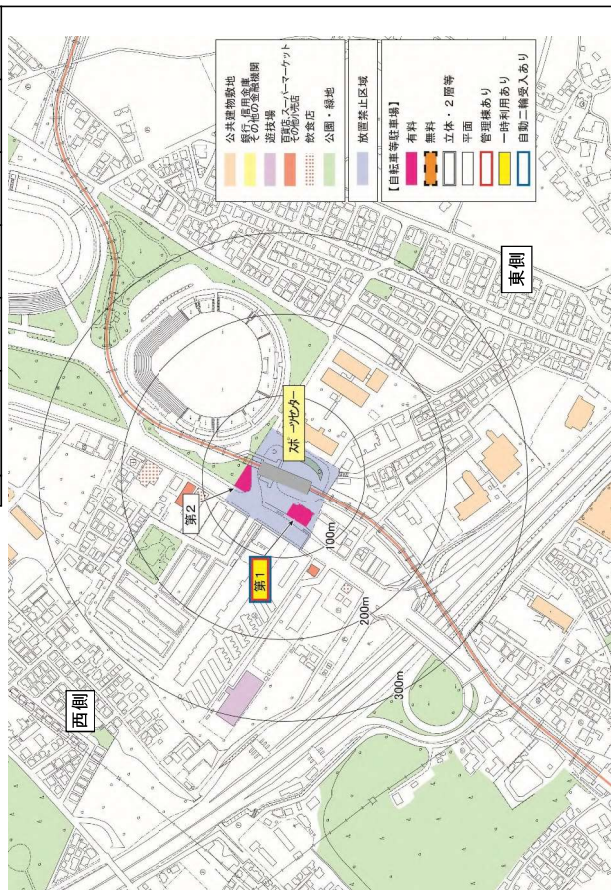


【現況】

スポーツセンター駅は、1日平均乗車人員は1,850人、自転車等の乗入台数は約200台である。
駐輪場は2箇所設置しており、収容台数は518台となっている。

駐車台数・放置台数 平成30年～令和4年の平均値	乗入台数		収容 台数	収容率	
	計	自転車			放置
計	216	215	1	518	42%
自転車	211	210	1	492	43%
原付	5	5	0	26	19%



西側	乗入台数		収容 台数	収容率
	計	自転車		
計	0	0	0	—
自転車	0	0	0	—
原付	0	0	0	—

東側	乗入台数		収容 台数	収容率
	計	自転車		
計	0	0	0	—
自転車	0	0	0	—
原付	0	0	0	—

◆参考データ
駅利用
状況
1日平均乗車人員(R2)
1,850人/日
(R3千葉市統計書)

【需要推計】

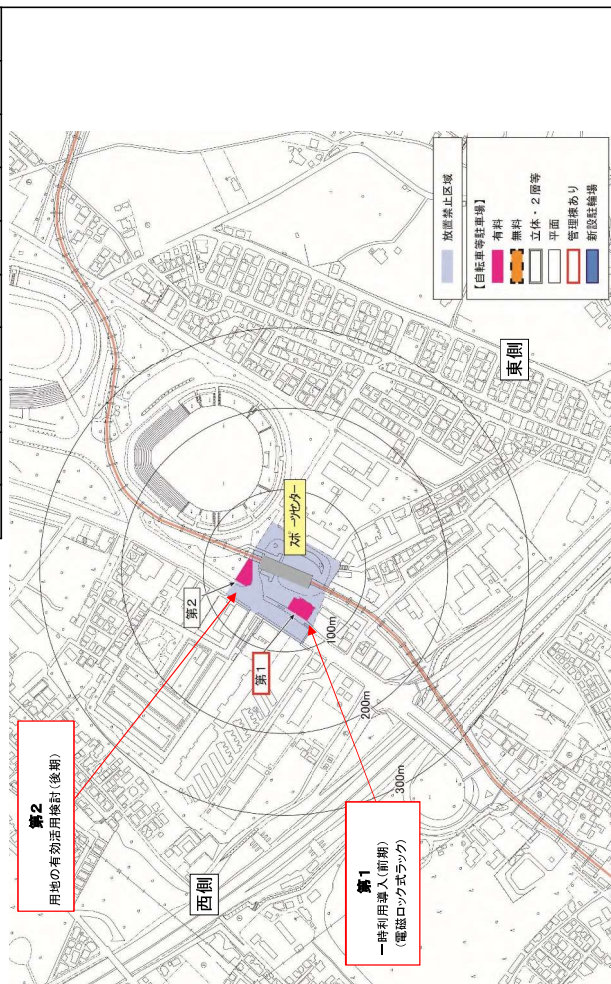
スポーツセンター駅周辺では、計画目標年次(令和14年)の乗入台数を210台と推計しており、現在、収容台数は518台を確保していることから充足している。

計画期間(R14)の 増減率	全体		西側		東側	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
	0.97	1.00	0.97	0.97	1.09	1.09

【整備計画】

収容台数が将来推計台数を上回っており、収容台数に不足は生じない。

整備計画区	全体		増減率 の台数	乗入 台数	増減率 の台数	新規 必要台数	推計 台数	収容 台数	収容率	不足 台数
	計	自転車								
計	216	211	—	216	211	0	210	518	41%	-308
自転車	211	205	0.97	205	205	0	205	492	42%	-287
原付	5	5	1.00	5	5	0	5	26	19%	-21



西側	乗入台数		増減率 の台数	新規 必要台数	推計 台数	収容 台数	収容率	不足 台数
	計	自転車						
計	0	0	—	0	0	0	0	-308
自転車	0	0	0.97	0	0	0	0	-287
原付	0	0	1.09	0	0	0	0	0

東側	乗入台数		増減率 の台数	新規 必要台数	推計 台数	収容 台数	収容率	不足 台数
	計	自転車						
計	0	0	—	0	0	0	0	0
自転車	0	0	1.09	0	0	0	0	0
原付	0	0	1.09	0	0	0	0	0

駅口 駐輪場	整備手法	台数		内一時利用 状況(内原付)	整備 時期	主体
		現況(内原付)	整備(内原付)			
西側	第1 一時利用車庫(電磁ロック式ラック) 第2 用地の有効活用検討	340 (26)	340 (26)	86 (6)	前期	市
東側		178 (0)	178 (0)	0 (0)	後期	市
計		518 (26)	518 (26)	86 (6)		
計		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
駅計		518 (26)	518 (26)	86 (6)		

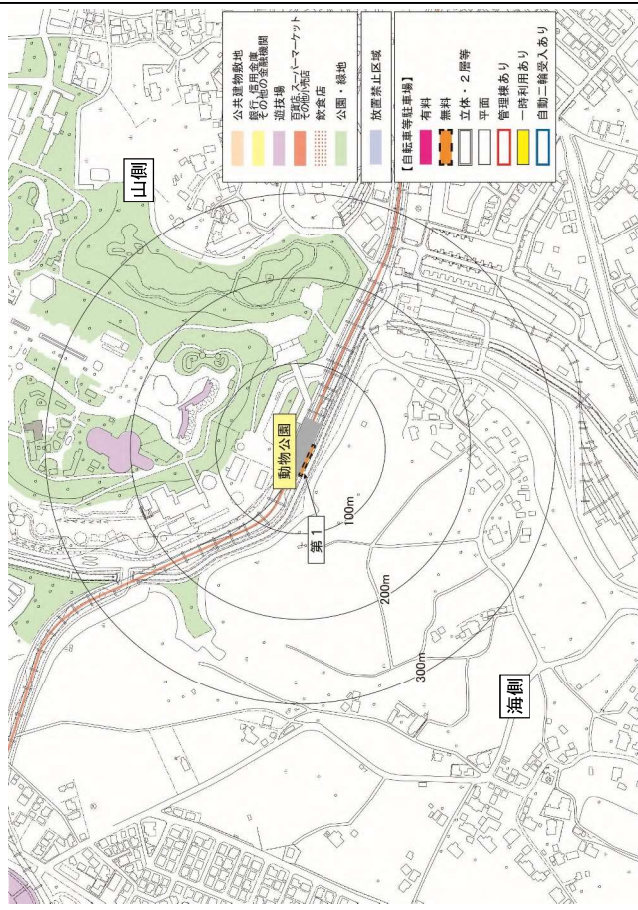
※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モルレル 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：R5～7 中期：R8～10 後期：R11～14

動物公園駅

【現況】

動物公園駅は、1日平均乗車人員は約600人、自転車等の乗入台数は70台である。駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は57台となっている。なお、駐輪場は無料となっている。

駐車台数・設置台数		乗入台数		収容	収容率
平成30年～令和4年の平均値		駐車	放置	台数	
計	65	17	48	57	30%
自転車	62	15	47	57	26%
原付	3	2	1	0	—



◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(R2)
	580人/日
	(R3千葉市統計書)

【需要推計】

動物公園駅周辺では、計画目標年次(令和14年)の乗入台数は64台と推計している。また、無料駐輪場を有料化した場合、乗入台数に減少が見込まれることから、需要推計において有料化による影響を考慮し、乗入台数を33台と推計する。現在、収容台数は57台を確保していることから充足している。

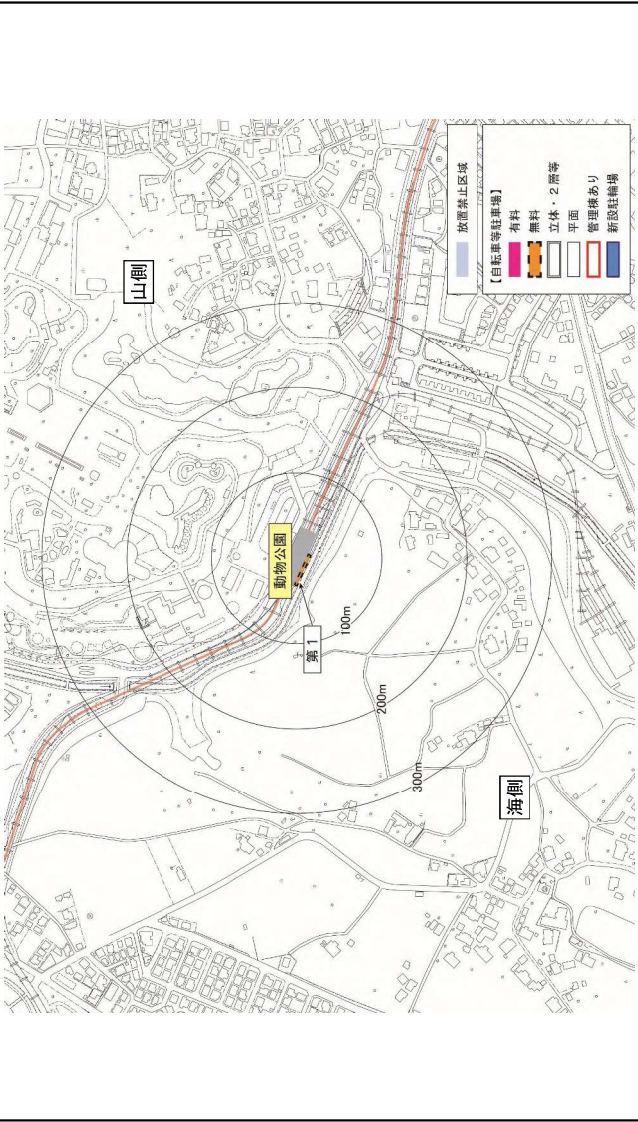
計画期間(R14)の増減率	全体	自転車	原付
	0.98	1.00	

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	自転車	原付
	51%	51%

【整備計画】

有料化、放置禁止区域の指定、必要な設備を含めた駐輪場の整備を検討する。収容台数が、将来推計台数を上回っており、収容台数に不足は生じない。

整備計画区		乗入	増減率	増減後の台数	有料化	推計	収容	収容率	不足
		台数			補正	台数	台数		台数
計	65	—	64	33	57	58%	-24		
自転車	62	0.98	61	31	57	54%	-26		
原付	3	1.00	3	2	0	—	2		



◆整備内容

駅・駐輪場	整備手法	台数		内一時利用		整備時期	主体
		現況(内原付)	整備(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)		
第1		57	(0)	0	(0)	—	市
計		57	(0)	0	(0)	—	市

※主体欄 市:千葉市, JR:JR東日本 京成:京成電鉄 モノ:千葉都市モルレル 民:個人または民間事業者

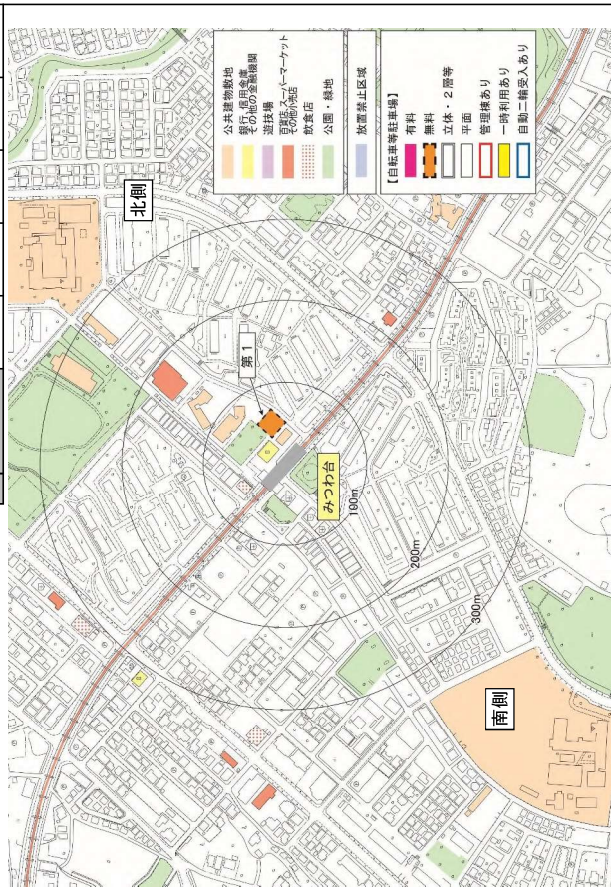
※整備時期欄 前期:R5~7 中期:R8~10 後期:R11~14

みつわ台駅

【現況】

みつわ台駅は、1日平均乗車人員は約1,400人、自転車等の乗入台数は250台である。
 駐輪場は北側に1箇所設置しており、収容台数は446台となっている。
 なお、駐輪場は無料となっている。

駐車台数・放置台数		乗入台数		収容率		
平成30年～令和4年の平均値		全体	駐車	放置	収容台数	収容率
計	225	133	92	446	30%	
自転車	215	124	91	426	29%	
原付	10	9	1	20	45%	



南側		北側		全体	
乗入台数	収容率	乗入台数	収容率	乗入台数	収容率
計	45	180	47	225	30%
自転車	45	133	46	178	29%
原付	0	9	1	9	45%

参考データ
 駅利用状況
 1日平均乗車人員(R2)
 1,358人/日
 (R3千葉市統計書)

【需要推計】

みつわ台駅周辺では、計画目標年次(令和14年)の乗入台数は225台を見込んでいます。また、無料駐輪場を有料化した場合、乗入台数は減少が見込まれることから、需要推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を115台と推計する。現在、収容台数は446台を確保していることから充足している。

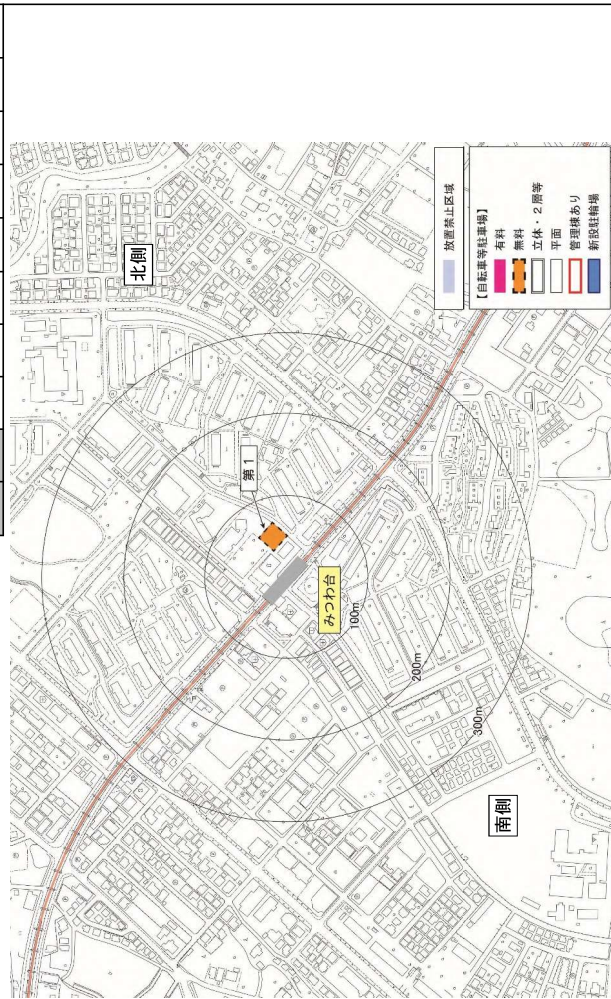
計画期間(R14)の増減率	全体	自転車	原付	南側	北側	自転車	原付
	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	原付
	51%

【整備計画】

有料化、放置禁止区域の指定、必要な設備を含めた駐輪場の整備を検討する。
 収容台数が、将来推計台数を上回っており、収容台数に不足は生じない。

整備計画		乗入台数		増減率		増減後の台数		増減後の台数		推計台数		収容率	
全体	計	乗入台数	原付	増減率	増減率	増減後の台数	増減後の台数	増減後の台数	増減後の台数	推計台数	推計台数	収容率	収容率
計	225	215	10	1.00	1.00	225	215	115	446	26%	26%	-331	-316
自転車	215	215	0	1.00	1.00	215	215	110	426	26%	26%	-316	-316
原付	10	10	0	1.00	1.00	10	10	5	20	25%	25%	-15	-15



南側		北側		全体	
乗入台数	収容率	乗入台数	収容率	乗入台数	収容率
計	45	180	21%	225	26%
自転車	45	170	20%	215	26%
原付	0	10	25%	10	25%

駅口	駐輪場	整備手法	台数		内一時利用		主体	
			現況(内原付)	整備(内原付)	計(内原付)	現況(内原付)	整備	運用
南側			0	0	0	0		
北側	第1		446	446	446	0	市	市
計			446	446	446	0		

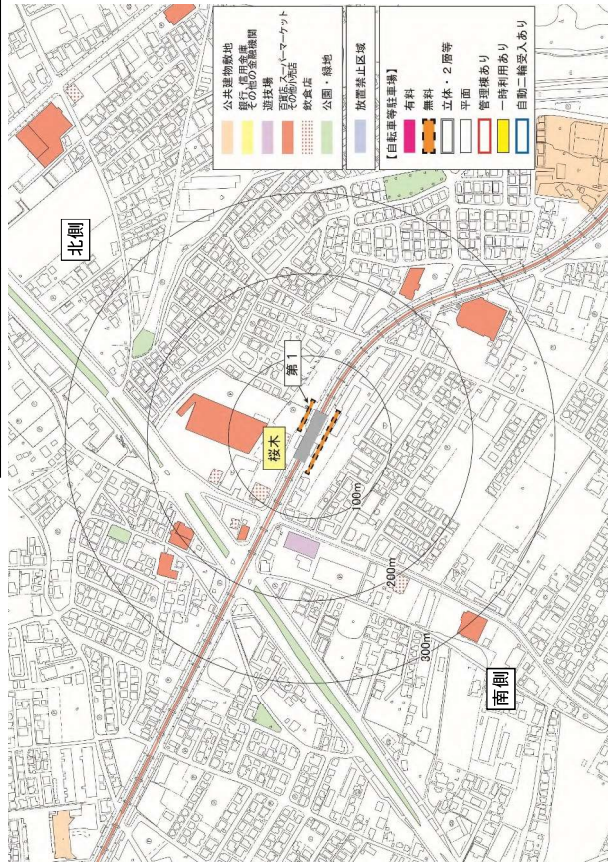
※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モテール 民：個人または民間事業者
 ※整備時期欄 前期：R5～7 中期：R8～10 後期：R11～14

桜木駅

【現況】

桜木駅は、1日平均乗車人員は約1,500人、自転車等の乗入台数は250台である。
 駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は252台となっている。
 なお、駐輪場は無料となっている。

駐車台数・放置台数		乗入台数		収容	収容率
平成30年～令和4年の平均値		駐車	放置	台数	
計	242	188	54	252	75%
自転車	242	188	54	252	75%
原付	0	0	0	0	—



南側	乗入台数		収容率		北側	乗入台数		収容率		
	計	自転車	放置	収容		計	自転車	放置	収容	
計	111	84	27	126	67%	131	104	27	126	83%
自転車	111	84	27	126	67%	131	104	27	126	83%
原付	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—

◆参考データ
 駅利用 1日平均乗車人員(R2)
 状況 1,499人/日
 (R3千葉市統計書)

【需要推計】

桜木駅周辺では、計画目標年次(令和14年)の乗入台数は251台と推計している。また、無料駐輪場を有料化した場合、乗入台数に減少が見込まれることから、需要推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を128台と推計する。現在、収容台数は252台を確保していることから充足している。

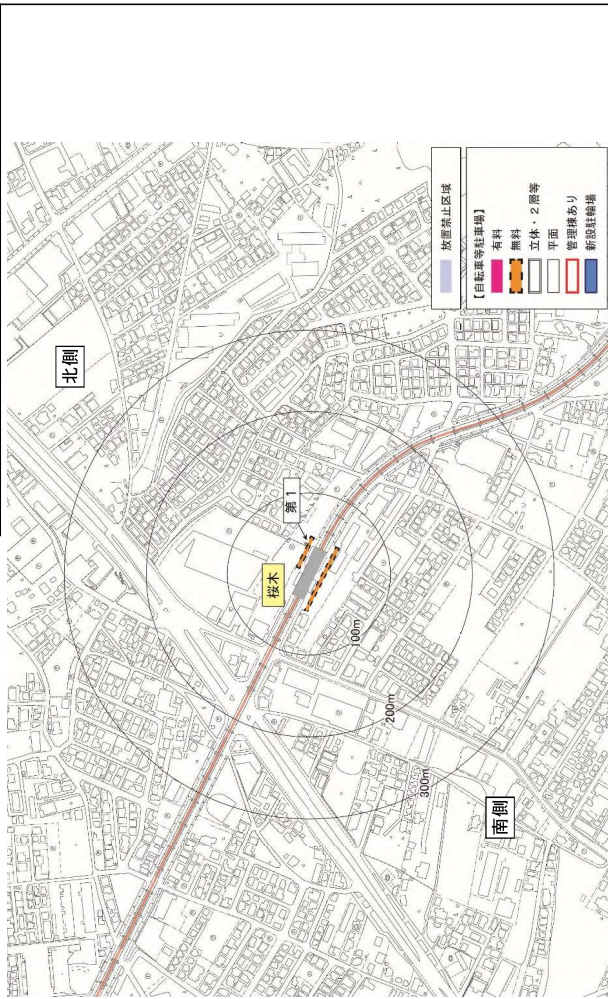
計画期間(R14)の増減率	全体		南側		北側		原付	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
	1.04	—	1.02	1.02	1.05	1.05	1.05	1.05

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	
自転車	原付
51%	51%

【整備計画】

有料化、放置禁止区域の指定、必要な設備を含めた駐輪場の整備を検討する。
 収容台数が、将来推計台数を上回っており、収容台数に不足は生じない。

整備計画		乗入台数		増減率		増減後の台数		増減後の有料化		推計		収容		不足	
全体	計	乗入台数	原付	増減率	原付	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率
計	242	242	0	—	251	—	251	—	128	128	252	51%	124	—	—
自転車	242	242	0	—	251	—	251	—	128	128	252	51%	124	—	—
原付	0	0	0	—	0	—	0	—	0	0	0	—	0	—	—



南側	乗入台数		増減率		増減後の台数		増減後の有料化		推計		収容		不足	
	計	自転車	増減率	原付	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	
計	111	111	—	113	—	58	—	58	126	46%	126	46%	-68	
自転車	111	111	1.02	113	0.51	58	0.51	58	126	46%	126	46%	-68	
原付	0	0	1.02	0	0.51	0	0.51	0	0	—	0	—	0	

北側	乗入台数		増減率		増減後の台数		増減後の有料化		推計		収容		不足	
	計	自転車	増減率	原付	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	
計	131	131	—	138	—	70	—	70	126	56%	126	56%	-56	
自転車	131	131	1.05	138	0.51	70	0.51	70	126	56%	126	56%	-56	
原付	0	0	1.05	0	0.51	0	0.51	0	0	—	0	—	0	

駅口駐輪場	整備手法		台数		計(内原付)		計(内原付)		整備		主体	
	現況(内原付)	整備(内原付)	現況(内原付)	整備(内原付)	現況(内原付)	整備(内原付)	現況(内原付)	整備(内原付)	時期	用地	主体	
南側	126 (0)	126 (0)	0	0	126 (0)	0 (0)	126 (0)	0 (0)	—	市	運営	
北側	126 (0)	126 (0)	0	0	126 (0)	0 (0)	126 (0)	0 (0)	—	市	市	
計	126 (0)	126 (0)	0	0	126 (0)	0 (0)	126 (0)	0 (0)	—	市	市	
駅計	252 (0)	252 (0)	0	0	252 (0)	0 (0)	252 (0)	0 (0)	—	市	市	

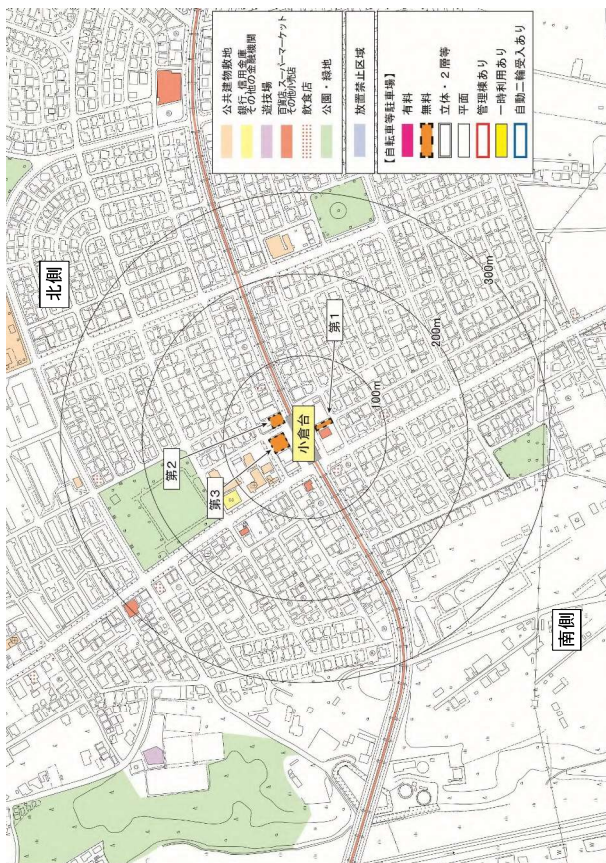
※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モレール 民：個人または民間事業者
 ※整備時期欄 前期：R5～7 中期：R8～10 後期：R11～14

小倉台駅

【現況】

小倉台駅は、1日平均乗車人員は約1,200人、自転車等の乗入台数は約300台である。
 駐輪場は南側に1箇所、北側に2箇所設置しており、収容台数は453台となっている。
 なお、駐輪場は無料駐輪場となっている。

駐車台数・放置台数		乗入台数		収容台数		収容率	
平成30年～令和4年の平均値		駐車	放置	台数	台数	台数	台数
計	301	300	1	453	66%		
自転車	296	295	1	441	67%		
原付	5	5	0	12	42%		



南側		北側		全体		収容率		
乗入台数	放置	乗入台数	放置	台数	台数	台数	台数	
計	92	1	165	55%	209	0	288	73%
自転車	89	1	161	55%	207	0	280	74%
原付	3	0	4	75%	2	0	8	25%

◆参考データ
 駅利用状況 1日平均乗車人員(R2) 1,192人/日
 (R3千葉市統計書)

【需要推計】

小倉台駅周辺では、計画目標年次(令和14年)の乗入台数を346台と推計している。また、無料駐輪場を有料化した場合、乗入台数が減少が見込まれることから、需要推計においては有料化による影響を考慮し、乗入台数を177台と推計する。現在、収容台数は453台を確保していることから充足している。

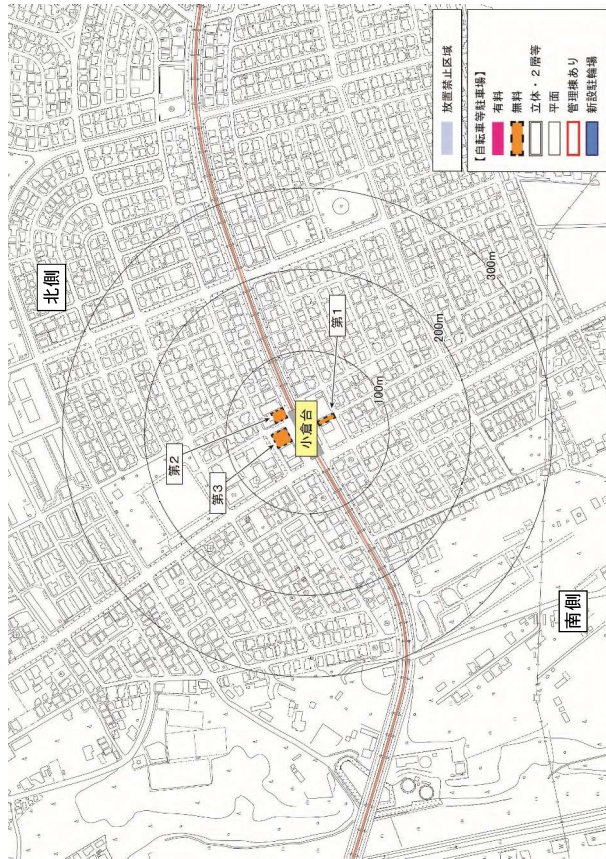
計画期間(R14)の増減率	全体	自転車	南側	北側	原付	自転車	原付
	1.15	1.00	1.13	1.13	1.16	1.16	1.16

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	原付
	51%

【整備計画】

有料化、放置禁止区域の指定、必要な設備を含めた駐輪場の整備を検討する。
 収容台数が、将来推計台数を上回っており、収容台数に不足は生じない。

整備計画図		全体		乗入台数		増減率		増減後の台数		増減後の台数		推計台数		収容台数		収容率	
不足台数	収容率	計	自転車	原付	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率
-276	39%	301	296	5	1.15	1.15	1.15	346	1	177	453	39%	-276	39%	-276	39%	-276
-267	39%	296	296	0	1.15	1.15	1.15	341	0.51	174	441	39%	-267	39%	-267	39%	-267
-9	25%	5	5	0	1.00	1.00	1.00	5	0.51	3	12	25%	-9	25%	-9	25%	-9



南側		北側		全体		収容率		
乗入台数	放置	乗入台数	放置	台数	台数	台数	台数	
計	92	1	165	33%	209	0	288	43%
自転車	89	1	161	32%	207	0	280	44%
原付	3	0	4	50%	2	0	8	13%

駅口駐輪場	整備手法	台数		内一時利用		整備		主体	
		現況(内原付)	整備(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)	時期	用地	整備	運営
南側		165 (4)	165 (4)	0 (0)	0 (0)		市	市	市
北側		165 (4)	165 (4)	0 (0)	0 (0)		市	市	市
計		114 (3)	114 (3)	0 (0)	0 (0)		市	市	市
第2		174 (5)	174 (5)	0 (0)	0 (0)		市	市	市
第3		288 (8)	288 (8)	0 (0)	0 (0)		市	市	市
計		453 (12)	453 (12)	0 (0)	0 (0)				

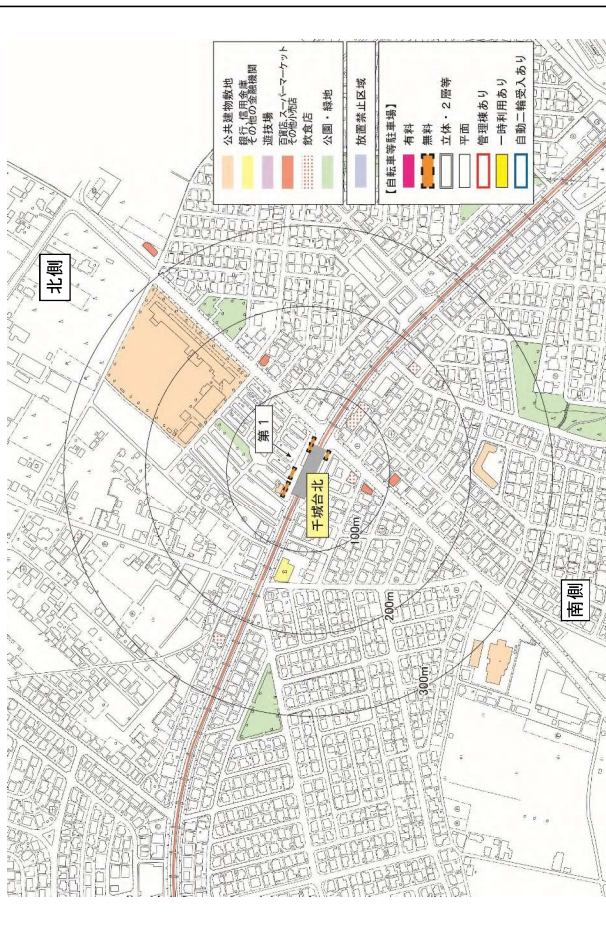
※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モレール 民：個人または民間事業者
 ※整備時期欄 前期：R5～7 中期：R8～10 後期：R11～14

千城台北駅

【現況】

千城台北駅は、1日平均乗車人員は約800人、自転車等の乗入台数は約300台である。
 駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は240台となっている。
 なお、駐輪場は無料となっている。

駐車台数・放置台数		乗入台数		収容	収容率
平成30年～令和4年の平均値	放置	自転車	放置	台数	台数
計	303	303	23	240	126%
自転車	300	300	23	240	125%
原付	3	3	0	0	—



南側	乗入台数		収容率	収容台数	収容率
	自転車	放置			
計	73	61	48	127%	126%
自転車	72	60	48	125%	125%
原付	1	1	0	—	—

北側	乗入台数		収容率	収容台数	収容率
	自転車	放置			
計	253	242	11	192	126%
自転車	251	240	11	192	125%
原付	2	2	0	0	—

◆参考データ
 駅利用 1日平均乗車人員(R2)
 状況 812人/日
 (R3千葉市統計書)

【需要推計】

千城台北駅周辺では、計画目標年次(令和14年)の乗入台数は327台と推計している。また、無料駐輪場を有料とした場合、乗入台数に減少が見込まれることから、需要推計において有料化による影響を考慮し、乗入台数を167台と推計する。現在、収容台数は240台を確保していることから充足している。

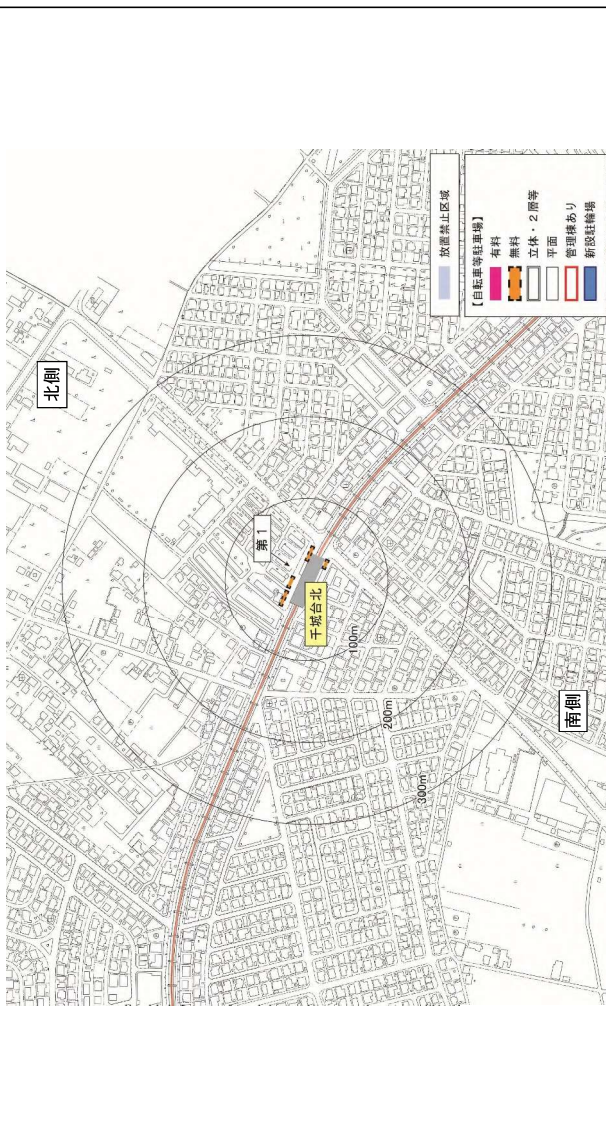
計画期間(R14)の増減率	全体		北側		南側	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
	1.00	1.00	1.13	1.13	1.00	1.00
	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97

無料駐輪場の有料化による乗入台数低下の割合	原付
	51%

【整備計画】

有料化、放置禁止区域の指定、必要な設備を含めた駐輪場の整備を検討する。
 収容台数が、将来推計台数を上回っており、収容台数に不足は生じない。

整備計画図		全体		乗入台数		増減後の台数		増減率		増減率		収容率	
増減後の台数	増減率	台数	原付	台数	原付	台数	原付	台数	原付	台数	原付	台数	原付
計	—	326	323	327	324	1.00	1.00	327	324	1.00	1.00	240	240
自転車	—	323	323	324	324	1.00	1.00	324	324	1.00	1.00	240	240
原付	—	3	3	3	3	1.00	1.00	3	3	1.00	1.00	0	0



南側	乗入台数		増減後の台数	増減率	収容率	収容台数	不足台数
	自転車	放置					
計	73	61	82	—	42	48	-6
自転車	72	60	81	1.13	41	48	-7
原付	1	1	1	0.51	1	0	1

北側	乗入台数		増減後の台数	増減率	収容率	収容台数	不足台数
	自転車	放置					
計	253	245	245	—	125	192	-67
自転車	251	243	243	0.97	124	192	-68
原付	2	2	2	0.97	1	0	1

駅口駐輪場	整備手法		台数		内一時利用		主体	
	現況(内原付)	整備(内原付)	計(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)	時期	用地	整備
南側	48 (0)	48 (0)	48 (0)	0 (0)	0 (0)		市	市
北側	192 (0)	192 (0)	192 (0)	0 (0)	0 (0)		市	市
計	192 (0)	192 (0)	192 (0)	0 (0)	0 (0)			
駅計	240 (0)	240 (0)	240 (0)	0 (0)	0 (0)			

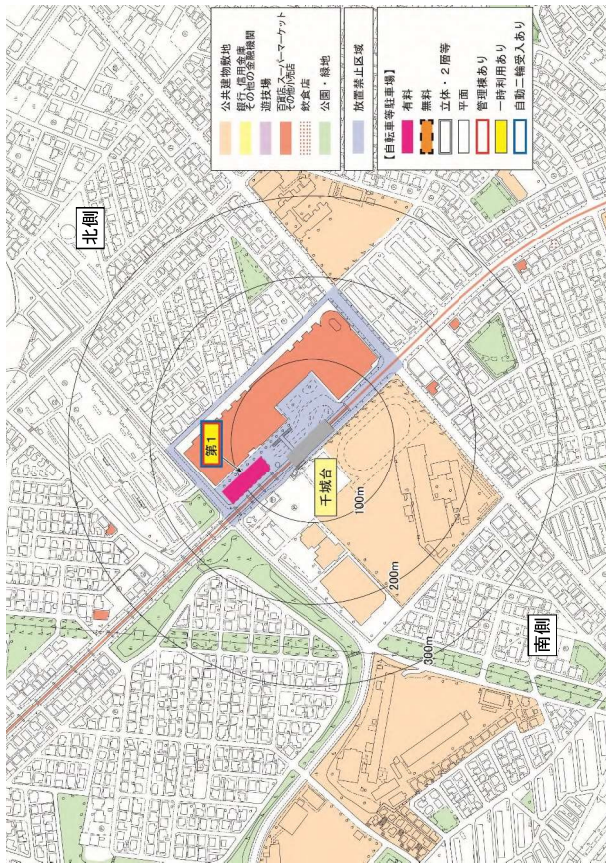
※主体欄 市:千葉市、JR:JR東日本 京成:京成電鉄 モト:千葉都市モーター 民:個人または民間事業者
 ※整備時期欄 前期:R5~7 中期:R8~10 後期:R11~14

千城台駅

【現況】

千城台駅は、1日平均乗車人員は約3,100人と、自転車等の乗入台数は約300台である。駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は1,019台となっている。

駐車台数・放置台数		乗入台数		収容率	
平成30年～令和4年の平均値		計	原付	計	原付
計	284	262	22	1,019	26%
自転車	277	255	22	893	29%
原付	7	7	0	126	6%



北側	乗入台数	駐車		乗入台数	収容率	収容台数
		計	原付			
計	273	262	11	1,019	26%	0
自転車	266	255	11	893	29%	0
原付	7	7	0	126	6%	0

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(R2)	3,114人/日
	(R3千葉市統計書)	

【需要推計】

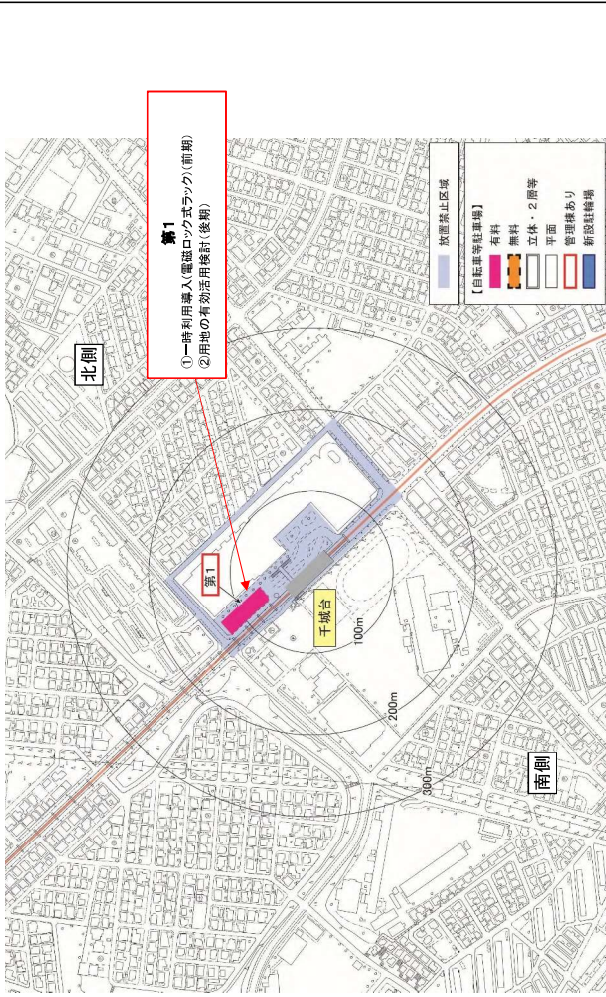
千城台駅周辺では、計画目標年次(令和14年)の乗入台数を271台と推計しており、現在、収容台数を1,019台確保していることから充足している。

計画期間(R14)の増減率	全体		北側		南側		自転車		原付	
	自乗	原付	自乗	原付	自乗	原付	自乗	原付	自乗	原付
	0.95	1.00	0.95	0.95	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98

【整備計画】

南側に駐輪場がないが、北側で収容台数が将来推計台数を上回っており、収容台数不足は生じない。

整備計画図		乗入台数		増減率		増減後の台数		推計台数		収容率	
全体		計	原付	計	原付	計	原付	計	原付	計	原付
計	284	271	0	271	0	1,019	27%	1,019	27%	-748	-
自転車	277	0.95	264	0	264	893	30%	893	30%	-629	-
原付	7	1.00	7	0	7	126	6%	126	6%	-119	-



北側	乗入台数	増減率		乗入台数	収容率	収容台数	不足台数	南側	乗入台数	増減率		乗入台数	収容率	収容台数	不足台数
		計	原付							計	原付				
計	273	1	260	11	1,019	26%	-758	計	11	1	11	0	11	0	11
自転車	266	0.95	253	11	893	28%	-640	自転車	11	0.98	11	0	11	0	11
原付	7	0.95	7	0	126	6%	-119	原付	0	0.98	0	0	0	0	0

駅口	駐輪場	整備手法	台数		内一時利用		整備時期	主体
			現況(内原付)	整備(内原付)	現況(内原付)	計画(内原付)		
北側	第1	【自転車等駐輪場】 有料 無料 立体・2階等 平面 管理棟あり 新設駐輪場	1,019 (126)	1,019 (126)	43 (9)	43 (9)	前後期	運賃市
南側			1,019 (126)	1,019 (126)	43 (9)	43 (9)		
計			1,019 (126)	1,019 (126)	43 (9)	43 (9)		
計			1,019 (126)	1,019 (126)	43 (9)	43 (9)		

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モリ：千葉都市モレール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：R5～7 中期：R8～10 後期：R11～14